

ハンディターミナル
(HT-280)
オートガス入力プログラム
操作手引書



株式会社 アクセス

2001年 5月31日	第1版
2001年 6月21日	第2版
2001年11月27日	第3版

目 次

1. キーについて
2. 初期画面
3. 各種設定
 3. 1 日付の変更
 3. 2 担当者コードの登録
 3. 3 現金コード、単価の登録
 3. 4 個人コードの登録
 3. 5 消費税率の登録
4. 営業所、車番マスターの受信
5. オートガス（納品データ）の入力
6. 明細印刷
7. 納品データの送信
8. 納品データの削除
9. 納品書の再印刷
10. エラーコード

1. キーについて

HT280では、ボタン状のキーはテンキー（数字と・）と [ENT]、[C]、[←]、[+]、[-]、[×]、[÷] だけです。その他に必要なキーは画面に表示（画面キー）されます。

以下の説明で [] はボタンまたは画面キーを表しています。



画面キー：タッチパネルになっているので直接画面に触れて下さい。

- ★ 金額、番号などの入力時は文字を入力したら最後に [ENT] を必ず押します。 [ENT] を押すことによって初めて入力したことになります。

(例) 番号を「1 2 3 4 5」と入力する場合

[1] [2] [3] [4] [5] [ENT] の順に押します。

2. 初期画面

ハンディの電源をONにすると、下記の画面が表示されます。
この画面を「初期画面」といいます。

「オートガス99999999」はプログラムのバージョンを、
「'99年99月99日」は現在の日付を表示します。

表示されている日付が誤っている場合は、日付を変更してください。
変更の方法は、**2. 1章**を参照してください。

画面キーを押すことにより、下記の処理が行えます。

オートガス充填入力	
オートガス99999999 '99年99月99日	
充 填	
受 信	送 信
明 細	伝 票
削 除	ラ イ ト
設 定	終 了

充 填：オートガスの充填量を入力し、納品書を印刷する。

受 信：顧客情報をホストから受信する。

送 信：充填情報をホストへ送信する。

明 細：ハンディに登録されている充填情報を印字する。

伝 票：指定の納品書を再発行する。

削 除：

ラ イ ト：ライトのON/OFFをする。

設 定：各種設定をする。

- ・日付
- ・担当者コード
- ・現金コード、単価
- ・個人コード

終 了：プログラムを終了する。

3. 各種設定

3.1 日付の変更

年月日、時分を直すとき以外は実行しなくて結構です。
ハンディを初めて使うとき、修理から戻ったとき等確認して下さい。
この日付が、納品書等の日付となります。

【操作手順】

【画面表示】

- ① 「初期画面」で [設定] を押す。
- ② [1. 日付] を押す。

各種設定	
1.	日付
2.	担当者コード
3.	現金コード、単価
4.	個人コード
5.	消費税率
6.	戻る

- ③ ハンディの現在の日付／時間が表示されます。
カーソルに従って正しい日付を入力して下さい。

[戻る] を押すと、日付の変更は行わずに、②の画面に戻ります。

日付変更	
9999年99月99日	99時99分
新しい年月日時分を入力して下さい。	
9999年99月99日	99時99分

3.2 担当者コードの登録

ハンディを使う前に「担当者コード」を登録または変更して下さい。
これを登録しないと充填入力できません。
登録または変更は次の通りに行います。

【操作手順】

- ① 「初期画面」で [設定] を押す。

【操作手順】

- ② [2. 担当者コード] を押す。

【画面表示】

各種設定	
1.	日付
2.	担当者コード
3.	現金コード、単価
4.	個人コード
5.	消費税率
6.	戻る

- ③ 既に「担当者コード」が設定されていれば、「****」には設定済みのコードが表示されます。

4桁の数字を入力して [ENT] を押すと登録/変更されます。

[戻る] を押すと、何もせずに②の画面に戻ります。

担当者コード設定	
担当者コード	[****]

3.3 現金コード、単価の登録

ハンディを使う前に「現金コード」（現金売りの得意先）と「単価」を登録または変更します。
これを設定しないと、充填入力できません。
登録または変更は次の通りに行います。

【操作手順】

- ① 「初期画面」で、[設定] を押す。
- ② [3. 現金コード、単価] を押す。

【画面表示】

各種設定	
1.	日付
2.	担当者コード
3.	現金コード、単価
4.	個人コード
5.	消費税率
6.	戻る

【操作手順】

- ③ 既に「現金コード・単価」設定されていれば、「****」には設定済みのコードが表示されます。

[戻る] を押すと、何のせずに②の画面に戻ります。

【画面表示】

現金コード・単価	
現金コード	[*****]
単価	[**.*]

3.4 個人コードの登録

ハンディを使う前に「個人コード」を登録または変更して下さい。
これを登録しないと充填入力できません。
登録または変更は次の通りに行います。

【操作手順】

- ① 「初期画面」で [設定] を押す。
- ② [4. 個人コード] を押す。

【画面表示】

各種設定
1. 目付
2. 担当者コード
3. 現金コード・単価
4. 個人コード
5. 消費税率
6. 戻る

- ③ 既に「個人コード」が設定されていれば、「**」には設定済みのコードが表示されます。

2桁の数字を入力して [ENT] を押すと、登録/変更されます。

[戻る] を押すと、何もせずに②の画面に戻ります。

現金コード・単価	
個人コード	[**]

3.5 消費税率の登録

消費税率の規定値は5%です。変更する場合は下記の手順で行います。

【操作手順】

- ① 「初期画面」で [設定] を押す。
- ② [5. 消費税率] を押す。

【画面表示】

各種設定	
1.	日付
2.	担当者コード
3.	現金コード、単価
4.	個人コード
5.	消費税率
6.	戻る

- ③ 変更がなければ、「*5.00」が表示されます。

新しい税率を入力し [ENT] を押すと変更されます。

[戻る] を押すと、何もせずに②の画面に戻ります。

消費税率設定	
消費税率	[*5.00]

4. 営業所、車番マスターの受信

ホストより営業所、車番マスターを受信します。
一度実行しておけば、社名や電話番号の変更、車番マスターの追加/削除がない限り実行しなくて結構です。

この処理を実行するにはまずホストの送信プログラムを実行します。

ホストの画面に

データをハンディに送信します。
ハンディを受信状態にして下さい。

と表示されたら、ハンディの接続を確認し [OK] を押します。

以下の説明は、ハンディの操作です。

【操 作 手 順】

- ① 「初期画面」で [受信] を押す。
- ② [はい] を押すと、データの受信待ちになります。
[いーえ] を押すと、「初期画面」に戻ります。

未送信のデータがあるときは、下記のメッセージが表示されるので、
[いーえ] を押して、「初期画面」に戻り、[送信] を実行して下さい。

未送信データがあります 受信しますか？	
いーえ	はい

- ③ ハンディは受信待ちとなります。
ホスト側で [OK] をクリックして下さい。通信が開始されます。

- ④ データ受信中は右図のように受信件数が表示されます。

受信が終了すると、下記のメッセージが表示されます。[確認] を押すと「初期画面」に戻ります。

受信終了しました。	
確認	

【画 面 表 示】

デ ー タ 受 信	
受信してよいですか？	
いーえ	はい

デ ー タ 受 信	
ホストと接続中	

デ ー タ 受 信 中	
データ受信中	**件
営業所情報	*件
車番情報	**件

- ★ 受信が正しく終了しなかったときは、ホストとハンディの接続を確認したうえで、やり直して下さい。

5. オートガス（納品データ）の入力

LPGを充填したときの、操作手順です。

【操作手順】

- ① 「初期画面」で [充填] を押す。
- ② 「客種選択」の画面が表示されるので、該当する客種の番号を入力して [ENT] を押す。

[戻る] を押すと「初期画面」に戻ります。

- ③ ②で [3. 会社] を選択したときだけ、「会社選択」の画面が表示されます。該当する会社名を入力して [ENT] を押す。

一回に9社表示されます。
[前] を押すと、前の9社が、
[次] を押すと、次の9社が表示されます。

- ④ [1. 現金売り] 以外を選択したときは、車番と無線番号を入力します。無線番号がない場合は「0000」を入力して下さい。

【画面表示】

客 種 選 択
1. 現金売り
2. 個人
3. 会社
[*]

会 社 選 択
1. 山田タクシー
2. 横浜タクシー
3. 東京タクシー
9. 豊田タクシー
[*]

[選択した会社名]
車番-無線 [****]-[****]

【操 作 手 順】

【画 面 表 示】

- ⑤ 充填量を入力します。
単価が設定されていれば料金が表示
されます。また、単価が設定されて
いると、入金の有無を聞いてきます
ので、「有」または「無」を指定し
て下さい。
- ⑥ 画面で充填量等を確認し [ENT]
を押すと、納品伝票が印刷され、
「会社選択」の画面に戻ります。

[戻る] を押すと、入金有無の指定
または、充填量入力に戻ります。

会社名
営業所名
車番-無線 [1234]-[1234]

充 填 量
単 価
ガス料金
消費税
請求額

入金 (1:無 2:有) 2有

6. 明細印刷

このハンディで使用する印刷用紙は、白紙のロール紙で、書式の印刷はありません。通常は、複写なしの用紙（1枚）を使用しますが、複写あり（2枚）の用紙を使用することもできます。複写なしを使用した場合は、納品書の印刷枚数は、約250枚です。複写ありの場合は約1/2になります。

充填内容の確認に使用します。ハンディに入っている充填（納品）データを指定の範囲に該当する全てを印刷します。

【操 作 手 順】

【画 面 表 示】

- ① 「初期画面」で [明細] を押す。
- ② 印刷したい明細の日付範囲を指定します。省略すると登録されている全明細が印刷されます。
- 〈例〉2001年6月1日ならば、
[20010601] と入力します。
- ③ 印刷内容を指定します。
規定値は「1. 明細と合計」です。
「2. 合計のみ」を選ぶと、
=== よりしたが印刷されます。

客 種 選 択

取り出し範囲 (年月日)
[*****] ~ []

印刷内容
[1] 1. 明細と合計
 2. 合計のみ

【印 字 例】

明 細 印 刷 99999999 →99999999
白)

取り出し範囲（指定がなければ空

AAAA : 99 9999-9999
'99/99/99 99:99 9999.9 9.999.999 領収
=====

現金	999 件	9999.9	9.999.999	9.999.999
掛売	999 件	9999.9	9.999.999	9.999.999
削除	999 件	9999.9	9.999.999	9.999.999

=====

'99年99月99日 99:99 担当:9999

伝票番号、会社コード、車番、無線番号
売上日付／時間、数量、金額、入金有無

件数、数量、売上額、入金額

印刷日付／時間、担当者コード

7. 納品データの送信

ハンディを通信ボックスに乗せます。

この処理を実行するにはまずホストの受信プログラムを実行します。

ホストの画面に、

ハンディ接続中

と表示されたら、ハンディの接続を確認し [OK] を押します。

以下の説明は、ハンディの操作です。

【操 作 手 順】

【画 面 表 示】

- ① 「初期画面」で [送信] を押す。
 - ② 件数を確認して [ENT] を押す。
- ★ 再送信の場合は、[2] を選択し
ます。

デ ー タ 送 信

伝票枚数	999件
未送信数	999件

- [1] 1. 未送信データのみ
2. 全伝票

【操 作 手 順】

- ③ ホスト側の準備ができていることを確認し、[はい]を押す。

[いーえ]を押すと「初期画面」に戻ります。

- ④ 通信中は送信件数が表示されます。

- ⑤ 送信が終了すると、送信結果が印刷され、右のメッセージが表示されます。[確認]を押すと「初期画面」に戻ります。

【画 面 表 示】

送信してよいですか？	
いーえ	はい

データ送信	
送信件数	999件

送信終了しました。	
	確認

【印 字 例】

送信結果	'99/99/99 99:99
=====	
送信件数:	999件
数量合計:	999.9リットル
売上合計:	9,999,999円
入金合計:	9,999,999円 (999件)
=====	

正常に終わらなかったときは、メッセージが表示されます。
「確認」を押すと、「初期画面」に戻りますので、もう一度やり直してください。

8. 納品データの削除

ホストに納品データを送信し、双方の結果印刷で件数、数量が一致していたら、ハンディの納品データを削除してください。
この操作を行わないとハンディ内に納品データが溜まってしまい、いずれデータの追加ができなくなります。

【操作手順】

- ① 「初期画面」で [削除] を押す。
- ② 削除の方法を指定します。
[1. 全データ削除] を選択する場合は、「未送信件数」を確認し「0」でなければ、先に「送信」を実行して下さい。

【画面表示】

データ送信	
伝票枚数	999件
削除件数	999件
未送信件数	999件
[1] 1. 全データ削除 2. 伝票削除	

- ③ 全データの削除
[1. 全データの削除] を選択すると右のメッセージが表示され、削除の再確認をします。

全データを削除しますか？	
いーえ	はい

[はい] を押すと、削除を実行します。
[いーえ] を押すと、②の画面に戻ります。

- ④ 特定伝票の取り消し
[2. 伝票削除] を選択すると、右の画面で指定する伝票を取り出すことができます。
取り消したい伝票番号を入力して下さい。

データ削除	
伝票番号	[****]

[戻る] を押すと②の画面に戻りません。

【操作手順】

- ⑤ 伝票番号を入力すると、該当する伝票の詳細が表示されます。

[ENT] を押すと、その伝票が削除され、再び伝票番号入力になります。

[戻る] を押すと、削除は行わず、④の画面に戻ります。

【画面表示】

データ削除

伝票番号 [0001]

充填日：9999/99/99

会社名：

車番：9999-9999

充填量：9999.9

入金有り

9. 納品書の再印刷

納品書の再印刷は次のように行います。

【操作手順】

- ① 「初期画面」で [伝票] を押す。

- ② 伝票番号を入力します。
伝票番号は4桁で指定します。

[戻る] を押すと、「初期画面」に戻ります。

【画面表示】

伝票再印刷

伝票番号 [****]

- ③ 伝票番号を入力すると、該当する伝票の詳細が表示されます。

[ENT] を押すと、その伝票が印刷され、再び伝票番号入力になります。

[戻る] を押すと、印刷は行われず、②の画面に戻ります。

伝票再印刷

伝票番号 [0001]

充填日：9999/99/99

会社名：

車番：9999-9999

充填量：9999.9

入金有り

10. エラーコード

コード	意	味
000	正常終了。	
101	パラメータが正しくない。	
102	ディレクトリが正しくない。	
103	ファイルが見つからない。	
104	ファイルがすでに存在する。	
105	ディレクトリに登録できるファイルの数を超えた。	
106	ファイルまたはデバイスがオープンされていない。	
107	ファイルまたはデバイスがすでにオープンされている。	
108	同時にオープンできるファイルの数を超えた。	
109	書き込み禁止である。	
110	ファイル領域がいっぱいで書き込みできない。	
111	アクセスが禁止された。	
113	EODを検出した。	
114	メモリが不足して作業領域が確保できない。	
116	同時にオープンできるデバイスの数を超えた。	
117	メモリが不足してファイルのアロケートができない。	
118	ファイルサイズが8Mバイトを超えた。	
121	ファイルのチェックサムが正しくない。	
123	ディレクトリが存在しない。	
124	”バッドマーク”付きのファイルである。	
125	読み出し禁止である。	
126	”バッドマーク”付きのディレクトリである。	
127	コピー未完了ファイルである。	
128	無効なファイルハンドルである。	
132	ページ番号が正しくない。	
133	サブ画面が存在しない。	
134	キーパターン番号が存在しない。	
136	サブ画面がLCD画面からはみ出す。	
137	表示領域がない。	
138	サブ画面の状態が正しくない。	
200	バッテリー電圧が低下した。	
201	パワーオフスイッチが押された。	
202	タイムアウトが発生した。	
203	リチウム電池の電圧が低下した。	
206	前回のパワーオフが正しく行われていない、またはリセットスイッチが押された。	
209	メモリーカードのリチウムバッテリー電圧が低下した。	
211	パワーオンにしたときに、”MAIN”ファイルが見つからない。または、コマンドモードで指定した実行ファイルが見つからない。	
212	ブレークキーによる入出力の中止。	
213	メモリーカードがすでにオープンされている。	
214	メモリーカードがオープンされていない。	
216	キーパターンファイルが登録されていない。	
219	ローバッテリー検出のレベル2が発生した。	
220	プリンタに用紙がセットされていない。	
221	プリンタのリリースレバーが正しい位置にセットされていない。	

コード	意 味
2 2 2	プリンタの用紙が正しく送れない、またはマークが検出されない (プリンタエラー)
2 2 3	プリンタのヘッド部分オーバーヒートが発生した。
2 2 4	スプールバッファにデータが存在する。
2 2 5	スプールバッファに空き領域がない。
2 2 6	プリンタのモータに電圧異常が発生した。
2 2 7	プリンタが動作できない。
2 3 0	RS受信バッファ。オーバーフロー。
2 3 1	パリティエラー。
2 3 2	オーバーランエラー。
2 3 3	パリティ及びオーバーランエラー。
2 3 4	フレーミングエラー。
2 3 5	フレーミング及びパリティエラー。
2 3 6	フレーミング及びオーバーランエラー。
2 3 7	フレーミング、オーバーラン及びパリティエラー。
2 3 8	受信データエラー。
2 3 9	ターミネートコードが検出された。
2 4 0	メモリーカードが装着されていない。
2 4 3	メモリーカードへの書き込み異常。
2 4 5	A T Aプロトコルエラー。
2 5 4	ローバッテリー検出のレベル 4 (強制終了) が発生した。

